

(森林機能の維持・向上による評価)

事業名		水源地域緊急整備事業(通常)	事業箇所	山梨市	三富	上釜口	地区名	広瀬上流(ひろせじょうりゅう)	(区分)	国補	
事業名		水源地域緊急整備事業(通常)	事業箇所	山梨市	三富	上釜口	地区名	広瀬上流(ひろせじょうりゅう)	事業主体	山梨県	
(1)事業概要								(3)事業の妥当性評価		妥当	妥当でない
①課題・背景		<p>本計画箇所は、山梨市三富上釜口地区を流れる一級河川笛吹川の上流に位置する。森林の林分が過密であるため森林の保安機能低下や近年の豪雨により溪流では溪岸浸食が発生し、溪流の荒廃が顕著となっていることから、森林整備等により、保安林の機能をより高度に発揮する必要がある。</p>						①公共関与の妥当性(行政が行うべき事業か)		<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
								・森林法第41条第1項に規定された「保安施設事業」に該当		<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
								②事業執行主体の妥当性(県が行うべきか)		<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
								・森林法第41条第3項の規定により都道府県知事が整備		<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
②整備目標・効果								③経済妥当性		<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
□主要目標		<p>○森林機能の維持・向上 要整備森林の状況(ランク) 4≥3 ※ 林分密度(RY) 0.8 ≥ 0.8 ※ 山地荒廃率(%) 0.8 ≥ 0.5 ※</p> <p>(※評価基準値)</p>						費用便益費 便益(B) / 費用(C) = 17.65 > 1.0			
								・便益(B) = 5614 百万円			
								・費用(C) = 318 百万円			
								④事業実施・規模の妥当性		<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
								・要整備森林50.0haの整備を実施し、森林状態4(林内暗く、下層植生なし)から1(林内明るく立体的樹冠構成)に導く。			
□副次目標		<p>○土石流被害の防止 保全対象 人家50戸 国道4000m 県営林道12000m 緊急度・危険度 11 ≥ 10 点 ※ 被害軽減額 585 ≥ 340 百万円 ※</p> <p>(※評価基準値)</p>						⑤整備手法の有効性		<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
								・保安林機能の回復を図る目的から治山事業による整備が有効			
□副次効果		<p>○被災時の被害波及の防止 国道の保全(国道140号)</p>						⑥環境負荷への配慮		<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
								・切土法面は緑化し、裸地を残さない ・使用機械は排ガス対策型とし、環境負荷を軽減する			
								⑦事業計画の熟度		<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
								・地元山梨市より強い要望あり			
								<妥当性評価>			
								・7項目すべて妥当であることから、妥当と判断			
(2)整備内容と整備量								(4)事業間優先度評価			
①整備内容		谷止工 8基 山腹工A=1.00ha 森林整備A=50.00ha						・貢献度ランク: a 副次効果ランク: 1 優先度評価: S I			
②整備期間		平成26年度～平成29年度						(5)総合評価		<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
③総事業費		350百万円(国費164百万円(1/2)、県費186百万円(1/2))						・(3)及び(4)の結果から「最優先」に実施			
④全体計画		<p>平成26年度 谷止工2基 森林整備A=10.00ha 90百万円</p> <p>平成27年度 谷止工2基 山腹工A=1.00ha 森林整備A=10.00ha 90百万円</p> <p>平成28年度 谷止工2基 森林整備A=10.00ha 90百万円</p> <p>平成29年度 谷止工2基 森林整備A=20.00ha 80百万円</p>						【事業位置図等】			
⑤規整備内容・期間・事業費		<p>谷止工2基 昭和63年 86百万円</p> <p>谷止工1基 平成 2年 64百万円</p> <p>谷止工1基 平成 7年 76百万円</p> <p>谷止工1基 平成13年 82百万円</p>						省 略			